

跳躍競技に関する注意事項

跳躍競技(高さで順位を決定する競技)におけるバーの上げ方は以下の通りに行う。
尚、自己記録が開始高さを下回る者が多数の場合、バーの上げ方はこの限りではない。

● 走高跳

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|----------|
| 男子 | 1.50 | 1.55 | 1.60 | 1.65 | 1.70 | 1.75 | 1.80 | 1.83 | 以後、3cm刻み |
| 女子 | 1.30 | 1.35 | 1.40 | 1.45 | 1.50 | 1.53 | 1.56 | 1.59 | 以後、3cm刻み |
| 十種 | 1.40 | 1.50 | 1.55 | 1.60 | 1.65 | 1.70 | 1.75 | 1.80 | 以後、5cm刻み |
| 七種 | 1.10 | 1.20 | 1.25 | 1.30 | 1.35 | 1.40 | 1.45 | 1.50 | 以後、5cm刻み |

● 棒高跳

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|
| 男子 | 3.00 | 3.20 | 3.40 | 3.60 | 3.80 | 3.90 | 4.00 | 4.10 | 以後、10cm刻み |
| 女子 | 2.00 | 2.10 | 2.20 | 2.30 | 2.40 | 2.50 | 2.60 | 2.70 | 以後、10cm刻み |
| 十種 | 2.00 | 2.40 | 2.70 | 3.00 | 3.30 | 3.60 | 3.80 | 4.00 | 以後、10cm刻み |

混成競技に関する注意事項

- ・走幅跳において助走路を使つての助走合わせは2回までとする。
- ・棒高跳において助走路を使つての助走合わせは2回までとし、バーをかけた練習は1回とする。
- ・走高跳において助走路での踏切位置合わせは、競技開始の10分前までに終わらせること。
10分前からバーをかけた練習を1回行う。
- ・混成の棒高跳において練習の高さは3種類設定する。
- ・混成の走高跳において練習の高さは3種類設定する。
- ・棒高跳の持ち記録が選手により大きく離れているため、やり投以降の競技において、
場合によってはグループ分けや、タイムテーブルの変更が生じる場合がある。